

第1分科会

地域社会と連携した障がい者雇用

ASKUL LOGIST株式会社 経営本部人事総務部人財開発課
坂井 博基

国立大学法人九州工業大学 管理本部 産業医・学校医（准教授）
田村 拓也

会社概要

会社名

ASKUL LOGIST株式会社

設立

2009年4月21日

資本金

9000万円

代表取締役

天沼 英雄

従業員数

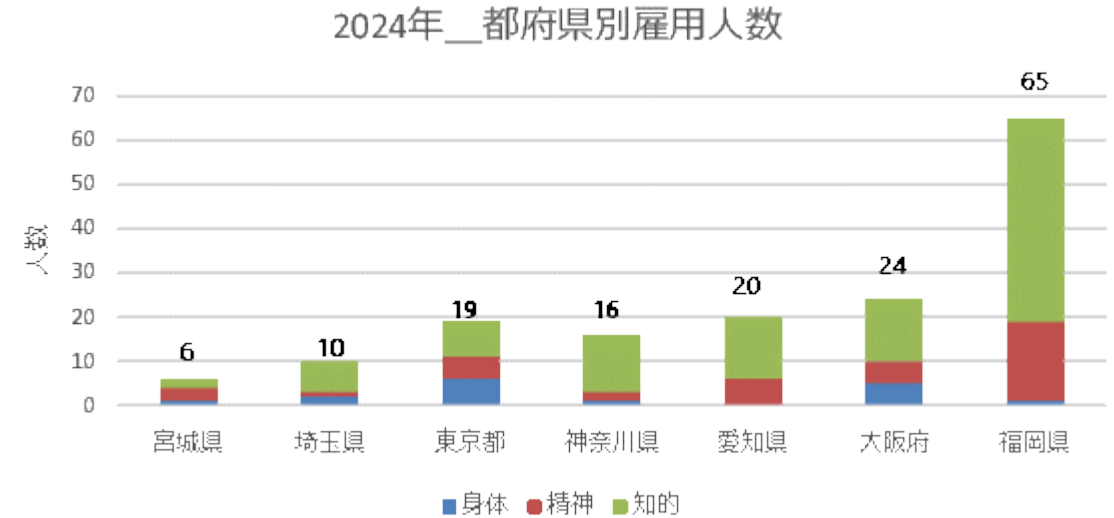
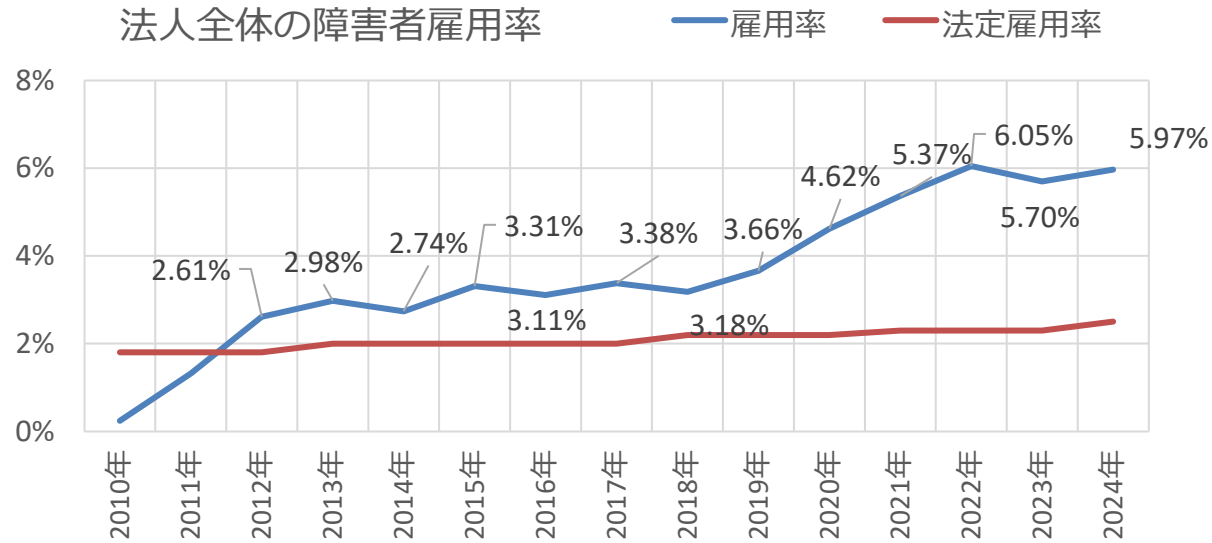
3594名（2024年5月20日現在）

株主

アスкул株式会社（100%）



雇用率推移

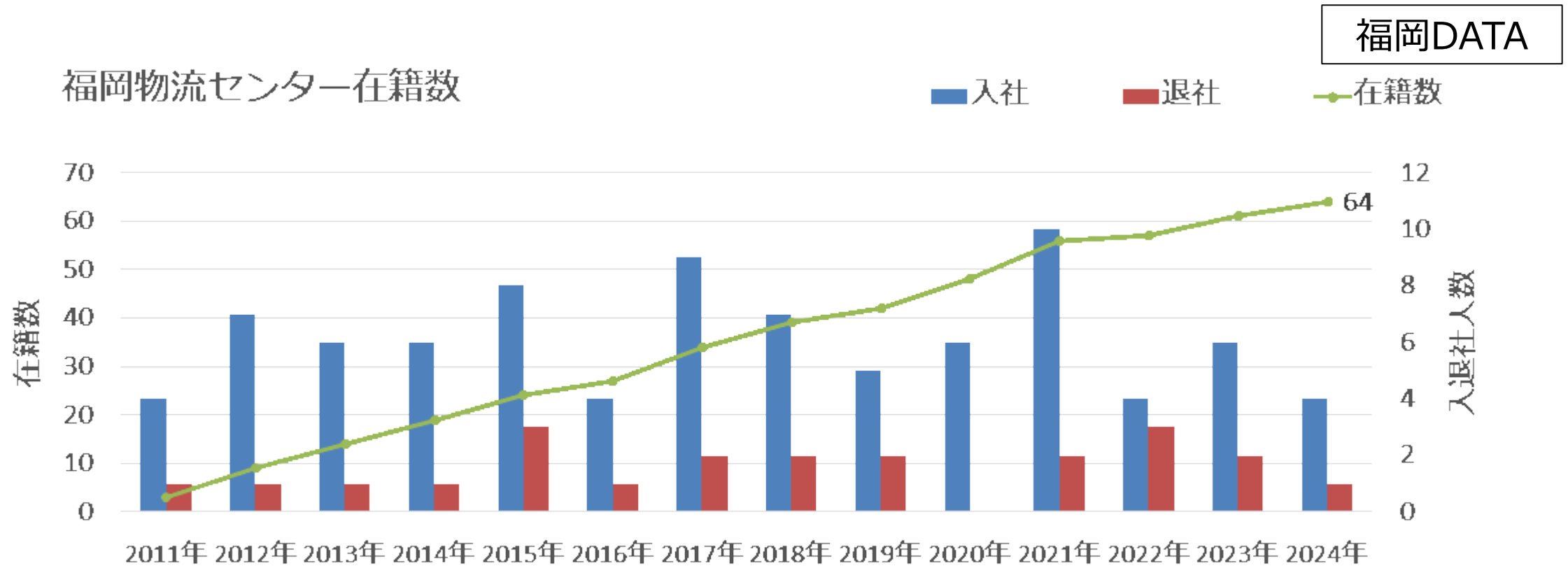


障がい者雇用__人数推移



- ・2012年より、法定雇用率の数値以上で推移。
- ・98%が物流事業での採用となっている。
- ・2023年と2024年の比較で、精神障がいと知的障がいが増えている。
- ・65%が知的障がい、25%が精神障がい、10%が身体障がいの雇用となっている。
- ・全体の40%が福岡県での雇用となっている。

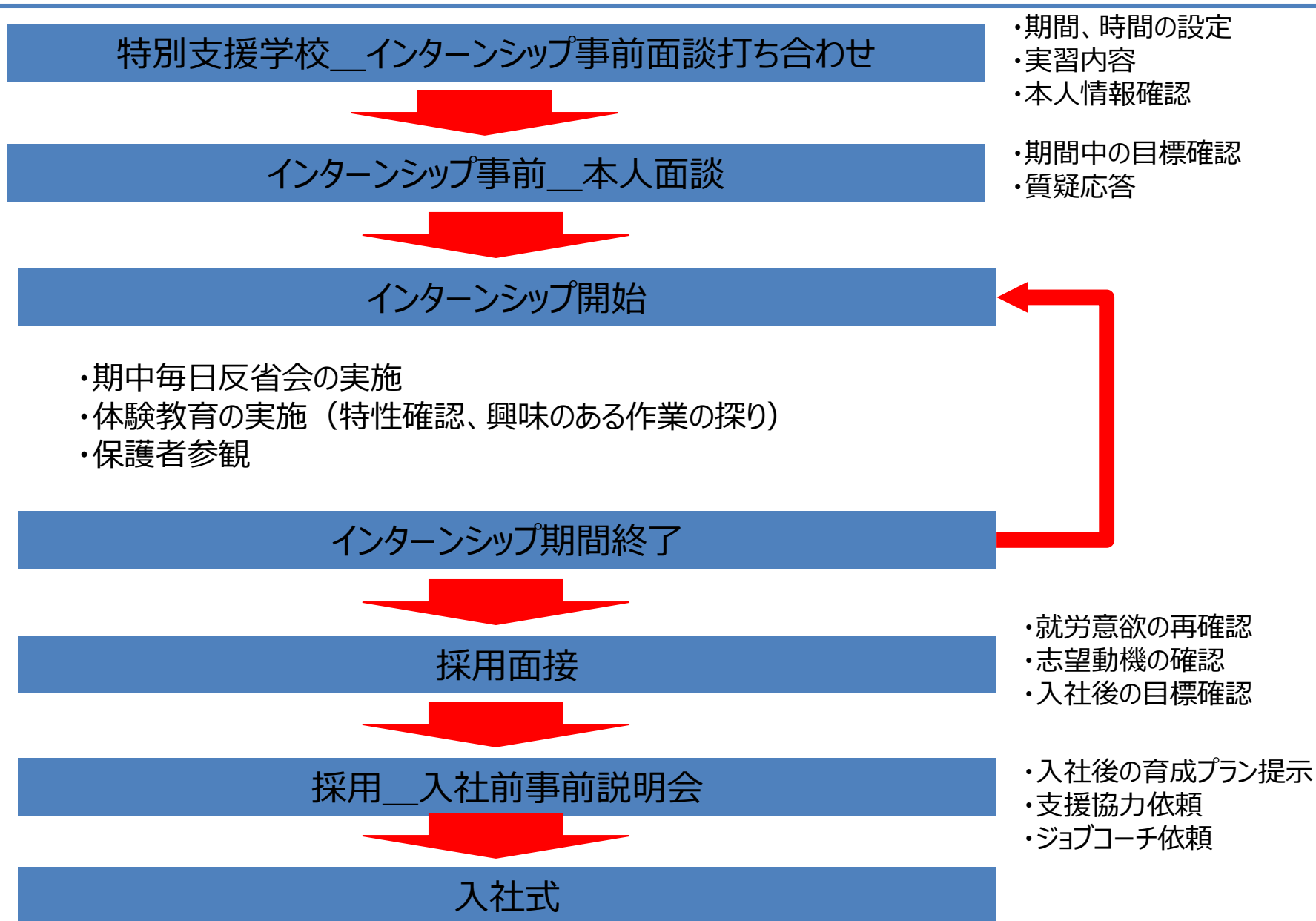
福岡物流センターの在籍数



会社見学⇒（体験・応募前）実習（3回）⇒応募⇒面接⇒採用の流れで応募者に対しての採用率は12年間で、ほぼ採用となっている。

※特別支援学校、支援機関との連携を密に行うことで、安定した雇用が実現。

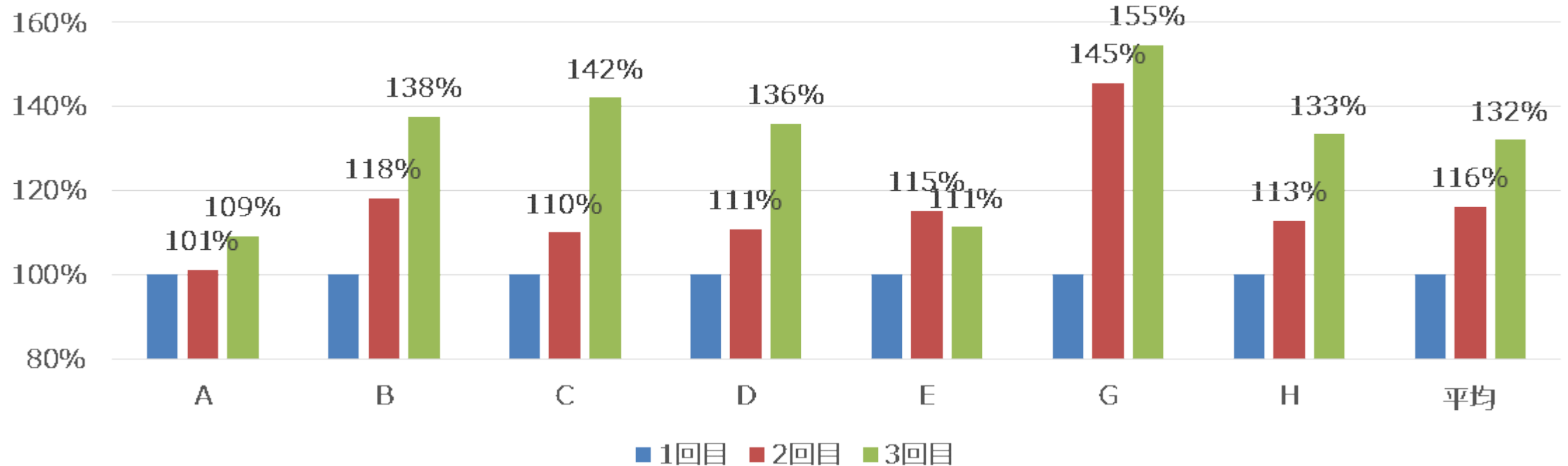
※職務内容は、物流倉庫内での業務全般になり、それぞれの特性に合わせて配置を決定している。



複数回の実習の効果と障害者の能力開発

福岡DATA

複数回の実習でのピッキング作業の上昇度（2021-2023年実績）

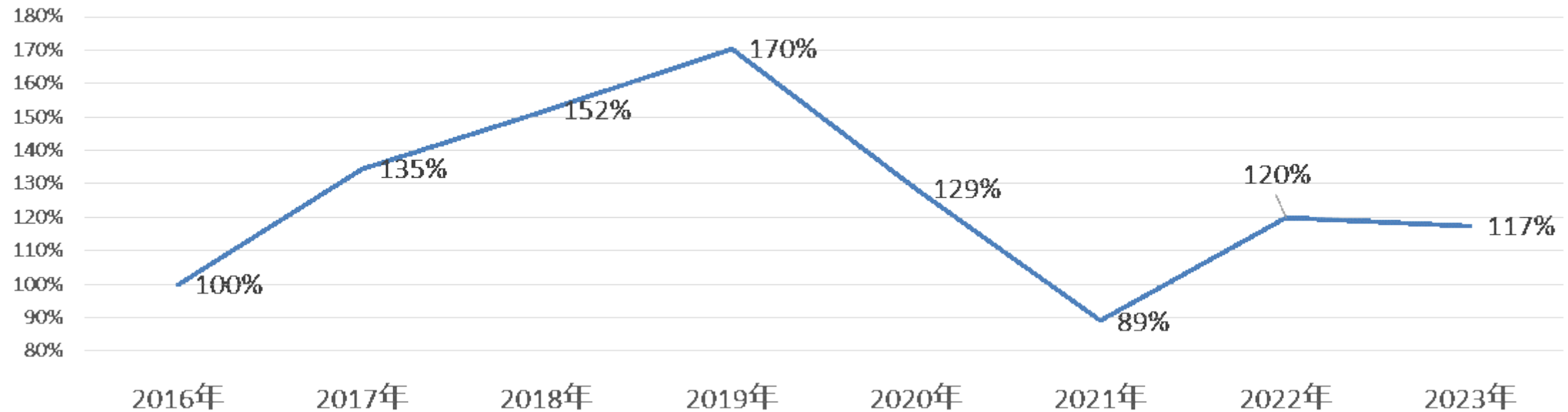


各人の初回実習時を100%とすると、2回目では101-145%（平均116%）、3回目では109-155%（平均132%）と、実習時の作業性はより高まる傾向にある。

複数回の実習の効果と障害者の能力開発

福岡DATA

2016年以降実習における作業性比較（全体平均）

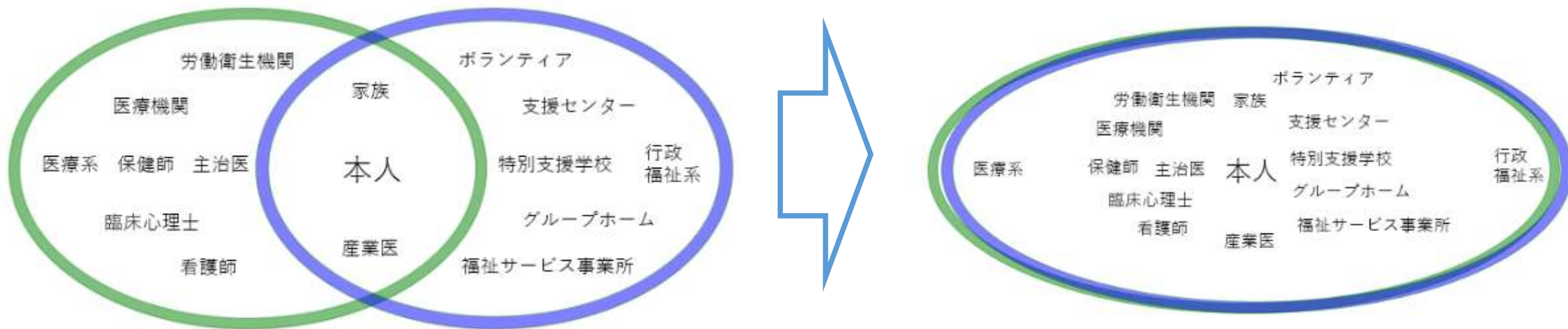


一方で、コロナの影響で実習回数が減ったときは、作業性が落ちていた。

その他の特徴

内容	当社
仕事の内容	特定業務を固定することなく、特性にあわせて配置検討していく。
給与	他社員と同様に評価しているので、それぞれに異なり、また昇給している場合もある。昇格して、リーダー等の役割を担っている場合もある。
支援機関連携	職場適応援助者（ジョブコーチ）は、企業在籍型を配置することではなく（資格取得者あり）、配置型と訪問型のペア支援で活用している例が多い。
採用ルート	求人媒体や人材紹介で採用するケースはほとんどなく、支援機関からの紹介もしくは、ハローワークからの採用が基本になっている。
産業医連携 （福岡）	月に1回の産業医面談を産業医の指示および本人希望で実施している。平均で10～15名／月の社員が健康相談を実施している。

①医療共同体と支援共同体の連携強化



②企業間連携の推進